

平安時代の近江ブランド 緑釉陶器

令和6年3月19日付けで、甲南町森尻の矢川神社木造神像4軀と、春日北窯跡及び出土品が滋賀県の文化財指定を受けました。

春日北窯跡は、水口町春日に所在する平安時代の10世紀初頭から後半にかけての窯跡で、灰釉陶器、緑釉陶器、窯詰めで使用された窯道具と少量の須恵器が出土しています。

灰釉陶器や緑釉陶器は中国製陶磁器や金属器を模してつくられたものです。祭祀儀礼用や食器が中心であり、平安京の貴族層とともに地域の富裕層にまで広く浸透していたことに特徴があります。

これまで平安時代の灰釉陶器の生産地は東海地方とされており、県内では灰釉陶器の窯跡はみつかっていませんでしたが、春日北窯跡の調査により、10世紀初頭に東海地方の技術を受け入れ、近江で生産されたことが初めて確認されました。

緑釉陶器は東海地方や京都府、滋賀県などの限られた地域で生産されてきました。県内の緑釉陶器の窯跡は、東近江市から日野町そして甲賀市にかけて確認されています。10世紀後半には、大消費地である平安京で使用された緑釉陶器の大半が近江産と判断されることから、近江はその時期の大生産地と考



▲春日北窯跡1号窯(焼成部床面)



▲春日北窯跡1号窯出土品

写真は滋賀県提供

えられてきました。鮮やかな緑色をした緑釉陶器は当時の人々を魅了したことでしよつ。

10世紀後半は、紫式部が生きた平安時代にあたります。近江で生産された緑釉陶器は、源氏物語の美しい世界で、人々の傍らに、いろどりを添えていたのかもしれない。

問 歴史文化財課 埋蔵文化財係 ☎ 69-2251 ☎ 69-2293

共生社会をはじめてみよう

「分かち合いから生まれる」第四の縁

全国的に不登校児の増加が社会問題となっており、甲賀市においても同様の傾向が見られます。学校に行きづらい子どもたちの様子は個々に違いますが、自分の安心できる場所や居心地の良い場所があれば、外出できる子どももいると聞きます。

今回は、「地域のごどもは地域で育てる」を理念に、子どもの居場所づくりに取り組み「スマイル甲賀ほっとルーム」の井村さんにお話をうかがいます。

どんな活動？

学校へ行きづらい子どもたちが、社会から取り残されないように、ゆったりほっこりできる場所を作っています。Wi-Fi環境が整っており、勉強やゲームもできます。

どんな分かち合い？

自分のやりたいこと、得意なことが発揮できるように、スタッフがアシストします。子どもさんの様子に合わせますので、読書やゲーム、ものづくりで静かに過ごしてもらっても良いです。子どもさんが「ここにいるのも良いんだ」と思える安心できる場所をここからつけていませう。

これからについて

大原地区の子どもたちだけではなく、甲賀市内の子どもたちも対象としています。多様な学びの形があることを、関係機関と連携をとりながら、すすめていきます。気楽に来てくだいね。



『スマイル甲賀ほっとルーム』

- 場所 市営住宅大原中団地集会所
- 開催日 毎週月・水・金 ①10時～15時 ②10時～12時 ③13時～15時 (ご都合の良い時間にお越しください)
- 問合せ スマイル甲賀 代表 井村 ☎ 090-8377-7972 ✉ skokaoharakko@gmail.com

問 地域共生社会推進課 ☎ 69-2155 ☎ 63-4085

祝 甲賀市市制施行20周年

甲賀市市制施行20周年のシンボルマークが決まりました!!

甲賀流忍者を題材としたTVアニメ『忍ばない！クリプトニンジャ咲耶』をはじめ、お茶や信楽焼のためき、菓、ゴルフなど甲賀市を象徴するものを詰め込んだマークです。



市制施行20周年協賛事業を募集しています!

節目の年を記念した独自の商品開発やイベントの開催など、20周年記念事業のPRし、盛り上げに協力していただける事業を募集しています。記念すべき節目となる年を共に盛り上げましょう!

20周年記念事業 開催予定

開催予定日	イベント名
7月14日(日)	NHK のど自慢 場所 あいこうか市民ホール
9月29日(日)	コウカ EXPO 2024 場所 市役所周辺



◀市制施行20周年協賛事業募集ホームページ



◀申込フォーム

甲賀市は10月1日に市制施行20周年を迎えます!

問 政策推進課 ☎ 69-2106 ☎ 63-4554